

Japan Water Agency  
水機構 ニュース

NEWS

「水機構ニュース」では、水資源機構からの最新ニュースを中心に、水にまつわるさまざまな情報をお届けします。

利根川  
水系

●思川開発建設所(栃木県)  
南摩ダム本体工事 本格始動!

水資源機構では、栃木県県央西部の鹿沼市で進めている思川開発事業の中核施設となる南摩ダム本体工事に着手します。6月30日に「南摩ダム本体建設工事」の入札情報を公告し、工事発注に向けた手続きを開始しました。住み慣れた故郷から移転して頂いた皆様、土地をお譲り頂いた皆様、地元地域の皆様及び関係機関の皆様から多大なるご協力とご理解を賜りましたことを、改めまして厚く御礼申し上げます。

今後は、11月に工事受注者が決定し、順次、ダム本体工事に着手していきます。令和6年度の事業完了に向けて、周辺環境の保全や地域の安全に配慮しながら、工事を進めてまいります。引き続き、当事業へのご理解とご協力、よろしくお願いいたします。



思川開発事業の概要

思川の支川南摩川に南摩ダムを建設し、洪水調節を行うとともに、思川支川の黒川、大芦川と南摩ダムを導水路で結び、水を融通しつつ効果的に水資源開発を行う事業です。



ダムからの補給、導水路の取水・補給の概要

南摩ダムの諸元

型 式	コンクリート表面遮水壁型 ロックフィルダム
高 さ	86.5m
堤 体 積	240万m <sup>3</sup>
総貯水容量	5,100万m <sup>3</sup>
有効貯水容量	5,000万m <sup>3</sup>
導水路の諸元	
黒川導水路	延長約3km, 最大通水量8m <sup>3</sup> /s
大芦川導水路	延長約6km, 最大通水量20m <sup>3</sup> /s

思川開発施設の概要

令和2年度優良工事等の表彰式を開催

7月6日、水資源機構本社にて令和元年度に完成した工事や業務の中で優れた成績を収めた工事、業務並びに技術者を表彰するために表彰式を開催し、理事長表彰として優良工事15社、優秀工事技術者14名、優良業務11社、優秀技術者11名の表彰を行いました。今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小しての開催となりました。

「安全で良質な水を安定して安くお届けする」という水資源機構の経営理念の実現に向けて、今後も企業の皆様と協力して取り組んでまいります。

なお、各支社局や現場事務所においても本社と同様に優良工事等の表彰を行いました。



優良工事表彰



優良業務表彰

利根川  
水系

●下久保ダム管理所

過去最大の土砂撤去工事 水機構Youtube 下久保ダムTwitterで公開

下久保ダムでは、台風や大雨に備え水害対策に使える貯水容量を増やすため、ダム底にたまった土砂の除去工事を進めています。

一般的にダムの堆砂量は、ダム計画時点で100年間の堆積量を予想し、この容量をダムの運用に必要な治水容量や利水容量(合わせて有効貯水容量)とは別に確保します。下久保ダムでは総貯水量1億3000万立方メートルの内、ダム底に1000万立方メートルの土砂がたまると見込んでいますが、昨年の台風19号で130万立方メートルの土砂が流れ込みました。これは1年間に堆積する土砂の6倍以上にあたります。

工事は国内に5台しかない無人で動く水陸両用ブルドーザーなどを使って進めており、今年度末までに過去最大の11万4000立方メートルを除去する計画です。

水資源機構 Youtube 及び下久保ダム管理所 Twitter にて、『2020年下久保ダム堆砂除去工事:新緑編』と題し工事の様子を公開しておりますので、是非ご覧ください。

なお、Youtube では迫力ある美しい放流動画「美放流」をはじめ、ダムや堰とその周辺のドローン空撮など、その時しか見られない動画を多数公開しています。皆さん、チャンネル登録をよろしくお願いいたします。



土砂を除去する水陸両用ブルドーザー



水資源機構Youtube



下久保ダムTwitter

利根川  
水系

●荒川ダム総合管理所(埼玉県) 異常洪水時の「緊急効果音」を導入

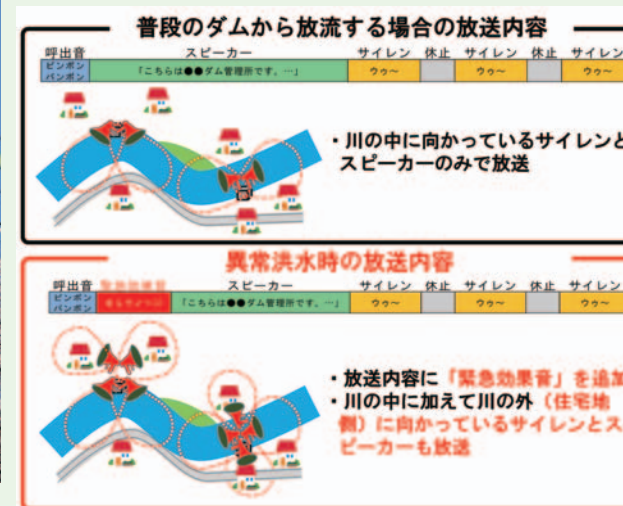
埼玉県秩父市の荒川上流域の3ダム(二瀬ダム(国土交通省管轄)、浦山ダム及び滝沢ダム)では、令和元年の台風19号や、それを超えるような異常洪水時に荒川沿いにお住まいの方々に対して、その緊急性や切迫感をお伝えするため、荒川沿いに設置している警報局の改良を進めてきました。この改良は、一昨年の西日本豪雨の被害を契機としたもので、これまでの川の中に向けて設置していたサイレンとスピーカーに加え、川の外の住宅地側に向けたものを新たに設置し、異常洪水時の「緊急効果音」を含めた放送内容を追加したものです。

改良が概ね完了し、市町との調整も済んで態勢が整った7月18日には、設備の動作確認のための訓練放送を、荒川沿いにお住まいの方へ自治会を通じた回覧板、公共施設への掲示、関係機関への周知依頼等を踏まえて実施しました。多くの人に聞いて頂きたいということで、土曜日の実施となりましたが、事前の十分な周知により、住民の方々からの苦情も無く滞りなく終了致しました。

令和2年においても各地で豪雨による災害が頻発しております。ダム管理者として、引き続き、異常洪水に備えた施設・体制整備を行ってまいります。



荒川沿いに設置している警報局



緊急効果音は、下記のQRコードから視聴することができます。



木曽川  
水系

●愛知用水総合管理所

三好池 地震に強くなーれ!

7月21日、みよし市天王小学校の3年生と特別支援学級の児童あわせて約110人が、社会科の授業の一環で、愛知用水のため池の一つである三好池を見学しました。

三好池では大地震に備え、池の内側と外側の地中に鉄製パイプ(鋼管杭)を埋め込む耐震補強工事を進めています。児童たちは、水位を低下させた池や、鋼管杭を専用の圧入機で打設する作業を見学しました。さらに、これから打設する直径1.2メートル、長さ9~12メートルの鋼管杭に、クレヨンで思い思いのイラストや文字を描いてもらいました。中には、「せかいにしあわせがもどりますように」といった願い事や、「がんばってください!!」という作業員への応援のメッセージもありました。

暖かい言葉を胸に、令和4年度の事業完了に向けて工事を進めてまいります。



鋼管杭に絵を描く児童たち



カラフルな鋼管杭が打設されていく様子

吉野川  
水系

●香川用水管理所(香川県)

小学校での出前講座、スタート!

7月13日、香川用水が主催する今年度の「出前講座」が始まりました。この取り組みは水資源機構の多くの事務所でっており、水の貴重さや施設の役割を多くの方に伝えています。

この日は、三豊市立詫間小学校を訪問。クイズを交えながら、香川用水や早明浦ダム・池田ダムの役割などを説明し、楽しみながらの時間はあっという間に過ぎていきました。先生からは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で校外学習の機会が持てないところ、水資源の知識や実経験のある専門家が先生として来てくれることは大変にありがたい、と感謝のお言葉をいただきました。香川用水では、今年度は例年より多くの学校から依頼をいただいております。新型コロナウイルス感染症に対応し、十分な感染予防対策を行ったうえで、今後も多くの学校で授業を行う予定です。



~8月1日は水の日~

水の天使×ポケモン 夢のコラボが実現!

水の大切さを考える日として定められた「水の日」を知ってもらおうと、毎年、この時期に合わせ全国各地で様々な行事が行われています。今年は、ポケットモンスターキャラクター「シャワーズ」と2020年ミス日本・水の天使の中村真優さんがコラボし、「水の日」のPRをしました。本年度は新型コロナウイルスの流行を踏まえ、水の日を開催している毎年恒例のイベント「水を考えるつどい」は延期となっていますが、「おうちで一斉打ち水大作戦」と題し全国で打ち水が実践されたり、レインボーリッジなど全国各地の施設が「水」をイメージしたブルーでライトアップされたりと、例年以上に工夫をこらした取り組みが展開されました。なお、関連行事である「水とのふれあいフォトコンテスト」の審査は例年通り実施し、今年度の入賞作品が決定しています。本誌裏表紙にて厳選して紹介しておりますので、是非ご覧ください。

